

関心

本稿は1月初めに書いたものだ。昨年10月に緊急事態宣言が解除され開放的な雰囲気が広がったなか、オミクロン株が蔓延し始めた頃だが、その後の推移はどうなっているだろうか。

これまで生活や仕事に係わる手綱が引き締められ、緩められ、昨年下期の解除以降、身のまわりの多くのことが回りだした。世の中に流れるニュースの量が急に増え、私自身、何に注視すべきなのか半ば茫然という感じだ。

巷では、ひとりキャンプや自宅料理の動画などが多くの人々の関心を集めてきているが、科学や技術に関する一般向け情報も増加しているように感じる。人々の関心と呼ぶ発見、発明やプロジェクトが始まっているだけでなく、ネット上の拡散を狙い、より多くの者が頻繁に発信するようになっている印象だ。これは人々の関心の高まりを映したものであるとともに、これに応えようとし各々が注力していることを表すものではないか。

さて、こうした期待に応えることの意味は何だろう。こうした情報を嗜好する人たちはちょっと先の未来を想像し夢を膨らませているかもしれない。あるいはその成果を知り、技術的マッチングが進み社会への貢献が図られるかもしれない。従来の広報手段をどう変えていくべきか。様相は変化してきていると思う。

(寒地構造チーム上席研究員 安中 新太郎)

* * * *

表紙左上記号 ISSN 2432-2652の説明

国際的なコード番号である ISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号)は、ISSN ネットワークが管理する、逐次刊行物を識別するための固有の番号です。この番号は国立国会図書館 ISSN 日本センターから付与されたものです。